

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公表番号】特表2005-530780(P2005-530780A)

【公表日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-505039(P2004-505039)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 6 1 K	31/4035	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/16	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/10	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/10	(2006.01)
A 6 1 P	27/14	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	33/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)

A 6 1 P	41/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 D	209/46	(2006.01)
C 0 7 J	5/00	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/198	
A 6 1 K	31/4035	
A 6 1 K	31/573	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/16	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/10	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	27/06	
A 6 1 P	27/10	
A 6 1 P	27/14	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	33/02	
A 6 1 P	33/06	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	41/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1

A 6 1 P 43/00 1 2 3
 C 0 7 D 209/46
 C 0 7 J 5/00
 C 0 7 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月2日(2006.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1~4

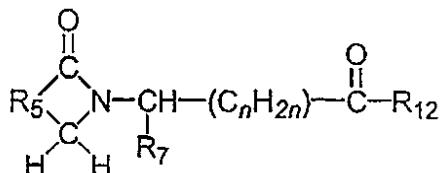
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1~4】

前記選択的サイトカイン阻害薬が、式(I):

【化1】



(I)

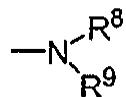
〔式中、nは、1、2、または3の値を有し；

R⁵は、無置換のo-フェニレン、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アシルアミノ、1~10個の炭素原子のアルキル、1~10個の炭素原子のアルコキシ、およびハロよりなる群からそれぞれ独立して選択される1~4個の置換基で置換されたo-フェニレンであり；

R⁷は、(i)フェニル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1~10個の炭素原子のアルキル、1~10個の炭素原子のアルコキシ、およびハロよりなる群からそれぞれ互いに独立して選択される1つ以上の置換基で置換されたフェニル、(ii)無置換のベンジル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1~10個の炭素原子のアルキル、1~10個の炭素原子のアルコキシ、およびハロよりなる群から選択される1~3個の置換基で置換されたベンジル、(iii)ナフチル、あるいは(iv)ベンジルオキシであり；

R¹²は、-OH、1~12個の炭素原子のアルコキシ、または

【化2】



であり、

R⁸は、水素または1~10個の炭素原子のアルキルであり；そして

R⁹は、水素、1~10個の炭素原子のアルキル、-COR¹⁰、または-SO₂R¹⁰(ここで、R¹⁰は、水素、1~10個の炭素原子のアルキル、もしくはフェニルである)である]で示される、請求項1~4のいずれか1項に記載の組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

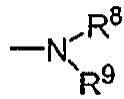
〔式中、nは、1、2、または3の値を有し；

R^5 は、無置換のo-フェニレン、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アシルアミノ、1~10個の炭素原子のアルキル、1~10個の炭素原子のアルコキシ、およびハロよりなる群からそれぞれ独立して選択される1~4個の置換基で置換されたo-フェニレンであり；

R^7 は、(i)フェニル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1~10個の炭素原子のアルキル、1~10個の炭素原子のアルコキシ、およびハロよりなる群からそれぞれ互いに独立して選択される1つ以上の置換基で置換されたフェニル、(ii)無置換のベンジル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1~10個の炭素原子のアルキル、1~10個の炭素原子のアルコキシ、およびハロよりなる群から選択される1~3個の置換基で置換されたベンジル、(iii)ナフチル、あるいは(iv)ベンジルオキシであり；

R^{12} は、-OH、1~12個の炭素原子のアルコキシ、または

【化2】



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

〔式中、*が付記された炭素原子は、キラリティーの中心に構成し；

Y は、C=O、 CH_2 、 SO_2 、または $\text{CH}_2\text{C=O}$ であり； R^1 、 R^2 、 R^3 、および R^4 は、それぞれ互いに独立して、水素、ハロ、1~4個の炭素原子のアルキル、1~4個の炭素原子のアルコキシ、ニトロ、シアノ、ヒドロキシ、もしくは $-\text{NR}^8\text{R}^9$ であり；または隣接する炭素原子上の R^1 、 R^2 、 R^3 、および R^4 のうちの任意の2つは、示されたフェニレン環と一緒にになって、ナフチリデンであり；

R^5 および R^6 は、それぞれ互いに独立して、水素、1~4個の炭素原子のアルキル、1~4個の炭素原子のアルコキシ、シアノ、または18個までの炭素原子のシクロアルコキシであり；

R^7 は、ヒドロキシ、1~8個の炭素原子のアルキル、フェニル、ベンジル、または NR^8R^9 であり；

R^8 および R^9 は、それぞれ、互いに独立して、水素、1~8個の炭素原子のアルキル、フェニル、もしくはベンジルであり、または R^8 および R^9 のうちの一方は水素であり、かつ他方は $-\text{COR}^{10}$ もしくは $-\text{SO}_2\text{R}^{10}$ であり、または R^8 および R^9 は、一緒にになって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、もしくは $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{X}^1\text{CH}_2\text{CH}_2-$ (ここで、 X^1 は、-O-、-S-、もしくは-NH-であり；そして

R^8' および R^9' は、それぞれ、互いに独立して、水素、1~8個の炭素原子のアルキル、フェニル、もしくはベンジルであり、または R^8' および R^9' のうちの一方は水素であり、かつ

他方は $-COR^{10}$ もしくは $-SO_2R^{10}$ であり、または R^8 および R^9 は、一緒になって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、もしくは $-CH_2CH_2X^2CH_2CH_2-$ (ここで、 X^2 は $-O-$ 、 $-S-$ 、もしくは $-NH-$ であり、 R^{10} は、水素、1~8個の炭素原子のアルキル、もしくはフェニルであり、 R^{10} は、水素、1~8個の炭素原子のアルキル、もしくはフェニルである)]
が挙げられる。